

87	建設局	自転車走行空間の整備
事業概要	<p>自転車は、広く都民に利用される重要な交通手段の一つであり、歩行者と自転車がともに安全で快適に通行できる空間の整備が重要である。</p> <p>このため、都では、多摩湖自転車道などの自転車道を整備するとともに、既設の広い歩道を活用した自転車走行空間の整備や道路の新設、拡幅にあわせて歩行者と自転車が安全で快適に通行できる空間の整備を進めている。</p>	
これまでの経過	<p>○これまでの整備実績（平成20年度末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道敷や河川敷等を利用した自転車道（サイクリングロード）の整備 <ul style="list-style-type: none"> 多摩湖自転車道や江戸川自転車道など 44.4 km ・既設の広い歩道における自転車走行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> 外堀通りや昭和通りなど 22.7 km ・新設や拡幅にあわせた自転車走行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> 調布保谷線 4.0 km ・車道を活用した自転車レーンの整備 <ul style="list-style-type: none"> 旧玉川水道道路 2.4 km 	
現在の進行状況	<p>「10年後の東京」への実行プログラム2009に基づき、浅草通りや国際通り、東八道路で、広い歩道を活用して、また、山手通りや調布保谷線などでは、道路の新設や拡幅にあわせて、歩道内で自転車が走行できる空間の整備を進めている。旧玉川水道道路では、交通管理者と連携して、車道部分への自転車レーンも整備している。</p> <p>○平成21年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区部 7.0 km（浅草通り、国際通り、山手通り、旧玉川水道道路） 多摩地域 1.7 km（東八道路） 	
今後の見通し	<p>「10年後の東京」への実行プログラム2010に基づき、区市町村との連携を図りながら、多様な手法を用いて、安全で快適な自転車走行空間の整備を積極的に推進していく。</p>	
問い合わせ先	建設局 道路管理部 安全施設課	電話 03-5320-5277